

## 美祢市・国立大学法人山口大学連絡協議会（次第）

日時 令和元年10月16日（水）

10時00分～

場所 山口大学事務局2号館特別小会議室

1 開会・あいさつ

2 出席者紹介

3 議長選出

4 議題

(1) 令和元年度における取り組みについて

- ・山口大学と美祢市との連携協力事項の概要について（美祢市）
- ・山口大学秋吉台アカデミックセンターの取組状況について（山口大学）

(2) その他

5 閉会

### 【配布資料】

資料1 出席者名簿・座席表

資料2 山口大学と美祢市との連携協力事項の概要

資料3 山口大学秋吉台アカデミックセンターの取組状況について

## 出席者名簿

## ○美祢市

所属・役職	氏名
教育委員会事務局長	金子 彰
観光商工部長	西田 良平
観光商工部次長	末岡 竜夫
総合政策部長	藤澤 和昭
総合政策部次長	繁田 誠
総合政策部企画政策課 主幹	岩崎 敏行

## ○山口大学

所属・役職	氏名
副学長、地域未来創生センター長	田中 和広
副学長補佐、秋吉台アカデミックセンター長、創成科学研究科教授（理学）	脇田 浩二
総務企画部長	多賀谷勇治
総務企画部 地域連携課長	都築 徳浩
総務企画部 地域連携課副課長	萩原 淳
総務企画部 地域連携課地域支援係長	北野 鉄人
総務企画部 地域連携課地域支援係	藤井 翔大

## 座 席 表

出入口	
藤井 課員	北野 係長
萩原 副課長	都築 課長
多賀谷 部長	脇田 副学長補佐
田中 副学長	金子 事務局長
岩崎 主幹	西田 部長
繁田 部次長	末岡 部次長
藤澤 部長	

## 令和元年度 山口大学と美祢市との連携協力事項の概要

は新規の取組

区分	平成30年度取組結果				令和元年度取組予定			
	事業番号	平成30年度取組実績	所管		事業番号	令和元年度取組予定	所管	
			山口大学	美祢市			山口大学	美祢市
1-1 教育・研究 (学術研究)	1	サマープログラムにおける海外からの留学生への現地研修指導	理学部	文化財保護課	1	サマープログラムにおける海外からの留学生への現地研修指導	理学部	文化財保護課
	2	実習指導等に関する協力	創成科学研究科	文化財保護課	2・3・4	実習指導、学芸員養成に関する協力	理学部ほか	文化財保護課
	3	農学部及び農研機構との共同研究	農学部	文化財保護課	5・6	共同研究、卒論相談	農学部	文化財保護課
	4	山口大学秋吉台アカデミックセンター運営支援	理学部ほか	文化財保護課	7	山口大学秋吉台アカデミックセンター運営支援	理学部ほか	文化財保護課
1-2 教育・研究 (学校教育)	5	美祢市教育相談支援チーム活動の推進	教育学部	学校教育課	8	美祢市教育相談支援チーム活動の推進	教育学部	学校教育課
	6	教育学習の受け入れ	教育学部ほか	学校教育課	9	教育学習の受け入れ	教育学部ほか	学校教育課
2 地域振興	7	美祢市総合計画審議会会長	副学長	企画政策課	10	美祢市総合計画審議会会長	副学長	企画政策課
3 観光・産業振興	8	ニジマスブランド化への支援	農学部	観光総務課	11	ニジマスブランド化への支援	農学部	観光振興課ほか
	9・12	美祢市産業振興推進審議会	経済学部	観光振興課・商工労働課	12・13	美祢市産業振興推進審議会	経済学部	商工労働課・観光振興課
	10	Mine観光地域づくり応援隊事業	国際総合科学部	観光振興課	14	Mine観光地域づくり応援隊事業	国際総合科学部	観光振興課
	11	プロジェクト型課題解決研究事業（PBL）	国際総合科学部	観光振興課	15	プロジェクト型課題解決研究事業（PBL）	国際総合科学部	観光振興課
	13	Mine Collection審査会	農学部	六次産業振興推進室	16	Mine Collection審査会	農学部	観光振興課ほか
4 保健・医療	14	美祢市健康づくり推進協議会委員	医学部	健康増進課	17	美祢市健康づくり推進協議会委員	医学部	健康増進課
	15	イクメン入門セミナーの講師	経済学部	健康増進課	18	美祢市地域医療推進協議会委員	医学部	健康増進課
	16	矯正医療研究支援	医学部	地域振興課	19	矯正医療研究支援	医学部	地域振興課
	17	社会復帰促進センター診療所への医師の派遣	医学部	地域振興課	20	社会復帰促進センター診療所への医師の派遣	医学部	地域振興課
	18	美祢市地域医療推進協議会委員	医学部	健康増進課				
5 国際交流	19	MINE ENGLISH VILLAGEへの協力	学生支援部	学校教育課	21	MINE ENGLISH VILLAGEへの協力	学生支援部	学校教育課
	20	JICA研修受入（ヨルダン地方行政コース）	経済学部	企画政策課	22	JICA研修受入（カンボジア国行政研修）	経済学部	企画政策課
					23	「やさしい日本語」講座講師	留学生センター	企画政策課
6 ジオパーク 活動	21	ジオガイド育成支援	創成科学研究科	世界ジオパーク推進課	24	ジオガイド育成支援	創成科学研究科	世界ジオパーク推進課
	21	ジオパーク拠点施設に係る協議	創成科学研究科	世界ジオパーク推進課	24	ジオパーク拠点施設に係る協議	創成科学研究科	世界ジオパーク推進課
	21	ジオパーク巡検支援	創成科学研究科	世界ジオパーク推進課	24	ジオパーク巡検支援	創成科学研究科	世界ジオパーク推進課
	21	ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた支援	創成科学研究科	世界ジオパーク推進課	24	ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた支援	創成科学研究科	世界ジオパーク推進課
	22	防災ジオカフェ（赤郷佐山集会所・厚保公民館）	教育学部	世界ジオパーク推進課				
7 その他 ①防災	23	美祢市の防災計画等の検証及び見直し	創成科学研究科	総務課	25	美祢市の防災計画等の検証及び見直し	創成科学研究科	総務課
②自然・環境	24	美祢市環境審議会委員	創成科学研究科	生活環境課	26	美祢市環境審議会委員	創成科学研究科	生活環境課
	25	美祢市麦川地区坑内水臭気対策に関する研究	創成科学研究科	生活環境課	27	美祢市麦川地区坑内水臭気対策に関する研究	創成科学研究科	生活環境課
	26	美祢市廃棄物減量等審議会委員	創成科学研究科	生活環境課	28	美祢市廃棄物減量等審議会委員	創成科学研究科	生活環境課
③公共施設	27	美祢市新本庁舎整備アドバイザー会議	創成科学研究科	総務課	29	美祢市新本庁舎整備アドバイザー会議	創成科学研究科	総務課
	28	美祢市公共施設等あり方検討委員会委員	創成科学研究科	秘書課	30	美祢市公共施設等あり方検討委員会委員	創成科学研究科	企画政策課
④公共交通	29	美祢市地域公共交通協議会委員	創成科学研究科	地域振興課	31	美祢市地域公共交通協議会委員	創成科学研究科	地域振興課
⑤文化	30	化石採集場発掘調査に係る支援	理学部	文化財保護課	32	秋芳洞照明植生対策事業緊急調査	理学部	文化財保護課
	31	秋芳洞照明植生対策事業事前検討会議	理学部	文化財保護課	32	秋芳洞照明植生対策委員会委員	理学部	文化財保護課
	32	文化財保護審議会委員	経済学部	文化財保護課	33	文化財保護審議会委員	経済学部	文化財保護課
	33	美祢市立博物館等施設将来構想検討委員会委員	副学長・情報文化財資料課	文化財保護課	34	美祢市立博物館等施設将来構想検討委員会委員	副学長・情報文化財資料課	文化財保護課
	34	長登銅山跡発掘調査に係る支援	農学部	文化財保護課				
⑥その他	35	美祢市情報公開・個人情報保護審議会委員	経済学部	総務課	35	美祢市情報公開・個人情報保護審議会委員	経済学部	総務課

平成30年度 連携協力事項報告書

事業番号	新規区分	分野番号	分野区分	担当学部 担当教授	事業実施内容（事業実施日、実施内容等）	所管課
1		1-1	教育・研究 (学術研究)	理学部 村上柳太郎教授	・8月27日（月） 理学部サマープログラムにおける海外からの留学生への現地研修指導（56人）	文化財保護課
2		1-1	教育・研究 (学術研究)	農学部 柳 由貴子助教	・10月12日（金） 実習指導（17人）	文化財保護課
3		1-1	教育・研究 (学術研究)	農学部 藤間 允准教授	・山口大学農学部および農研機構（西日本農業研究センター）との共同研究	文化財保護課
4		1-1	教育・研究 (学術研究)	理学部ほか	・山口大学秋吉台アカデミックセンター運営支援	文化財保護課
5		1-2	教育・研究 (学校教育)	教育学部 松岡勝彦教授	・美祢市教育相談支援チーム活動の推進 7月26日（木）連絡協議会へ出席 11月15日（木）連絡協議会へ出席 1月31日（木）ケース検討会議へ出席 ・連絡協議会及びケース検討会議を開催し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援や学びのつながりを大切にする教育を推進するとともに、教育、福祉、医療、心理等の関係機関と連携しながら、特別な支援を必要とする園児・児童・生徒一人ひとりの実態や教育的ニーズの把握、また適切な支援についての協議を行うことができた。	学校教育課
6		1-2	教育・研究 (学校教育)	教育学部ほか	・教育学部等の教育実習生を市内小・中学校で受け入れた。教育実習生が教育現場を体験することで、教師としての使命や責任を自覚する機会となるとともに、受入校の教職員の指導力の向上や児童生徒の成長の機会とすることができた。	学校教育課
7	新規	2	地域振興	田中和広副学長	・第二次美祢市総合計画審議会の会長へ就任（11月16日（金）開催） ・第二次美祢市総合計画（基本計画・総合戦略）の策定	企画政策課
8	新規	3	観光・ 産業振興	農学部 赤壁善彦教授	・H30.6～ ニジマスブランド化への支援	観光総務課
9		3	観光・ 産業振興	経済学部 陳 禮俊教授	・美祢市産業振興推進審議会 観光振興専門分科会専門委員	観光振興課
10	新規	3	観光・ 産業振興	国際総合科学部 小川仁志教授	・Mine観光地域づくり応援隊事業 ・参加学生 延べ99名 ・内訳 インバウンド通訳業務 延べ23名 イベント・ノベルティ企画等構築業務 延べ57名 イベント支援・PR業務 延べ19名	観光振興課
11		3	観光・産業振興	国際総合科学部 小川仁志教授	・プロジェクト型課題解決研究事業（PBL） ・美祢市における台湾人観光客誘致のための企画提案（5月11日～2月26日） ・7月9日～13日 台湾における現地調査 ・平成31年2月22日 事業報告会（美祢市民会館）	観光振興課
12		3	観光・産業振興	経済学部 齋藤英智准教授	・通年 産業振興推進審議会に会長として出席（10月、3月開催）	商工労働課
13		3	観光・産業振興	農学部 高橋 肇教授	・Mine Collection審査会（プレゼンと試食・2月8日（金）開催）	六次産業振興推進室
14		4	保健・医療	医学部 長谷亮佑助教	・美祢市健康づくり推進協議会 健康増進計画等推進部会運営支援	健康増進課
15	新規	4	保健・医療	経済学部 鍋山祥子教授	・3月19日（火） イクメン入門セミナーの講師	健康増進課
16		4	保健・医療	医学部	・矯正医療研究支援	地域振興課
17		4	保健・医療	医学部	・社会復帰促進センター診療所への医師の派遣	地域振興課
18		4	保健・医療	医学部附属病院 黒川典枝特命教授	・美祢市地域医療推進協議会委員（7月26日（木）開催）	健康増進課
19		5	国際交流	学生支援部	・MINE ENGLISH VILLAGE への協力 8月4日（土）9：00～15：00 美祢市民会館 美祢市内の児童生徒を対象に、山口大学留学生8カ国15名の協力の下で実施した。 ①英語を使ったアクティビティー ②留学生の出身国の遊びや日本の遊びでの交流 ③英語検定に向けたアクティビティー ④留学生のおみやげづくり（はっぴ） ・英語によるコミュニケーション能力とグローバル感覚を備えた児童生徒の育成に資することができた。	学校教育課
20		5	国際交流	経済学部 富本幾文教授	・JICA「ヨルダン」地方行政研修（9月2日（月）～9月15日（日）） ・9月11日（火）美祢市へ訪問（世界ジオパーク構想等について） ジオサイト、秋吉台・秋芳洞訪問	企画政策課

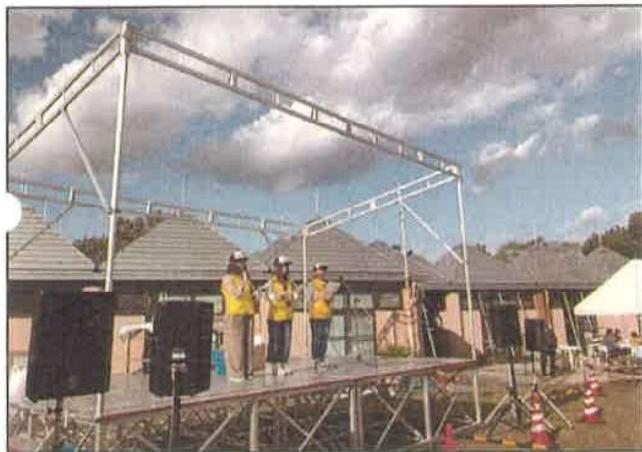
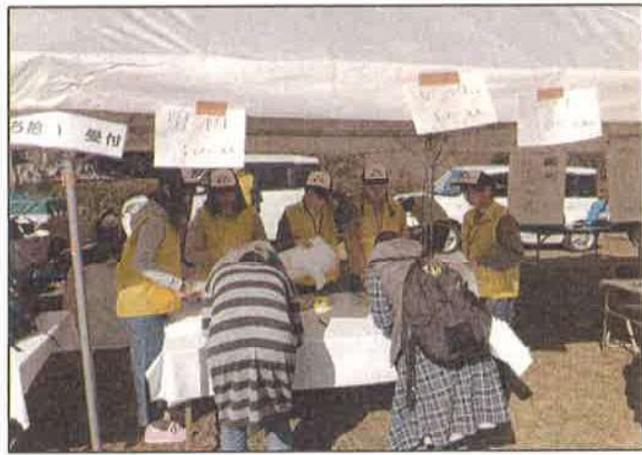
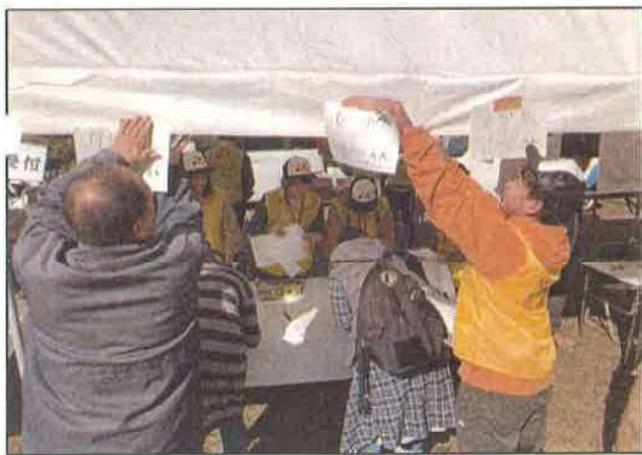
事業番号	新規区分	分野番号	分野区分	担当学部 担当教授	事業実施内容（事業実施日、実施内容等）	所管課
21		6	ジオパーク活動	創成科学研究科 田中和広副学長 脇田浩二教授 坂口有人教授	・通年 ジオガイド育成支援 ・通年 ジオパーク拠点施設に係る協議 ・通年 ジオパーク巡検支援 ・通年 ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた支援 ・6月1日（金）・6月28日（木） Mine秋吉台ジオパーク推進協議会総会	世界 ジオパーク 推進課
22	新規	6	ジオパーク活動	教育学部 楳原京子准教授	・1月31日（木） 防災ジオカフェ（赤郷佐山集会所） ・2月14日（木） 防災ジオカフェ（厚保公民館）	世界 ジオパーク 推進課
23		7	その他 ①防災	創成科学研究科 鈴木素之教授	・通年 美祢市の防災計画等の検証及び見直し ・3月27日（水） 美祢市防災会議委員として出席	総務課
24		7	その他 ②自然・環境	創成科学研究科 奥田昌之教授 今井 剛教授	・美祢市環境審議会委員 ・通年 美祢市における環境の保全に関し、基本的事項を調査審議する。 （美祢市における公害防止対策についての調査研究をする。） ・2月18日（水） 美祢市環境審議会への出席	生活 環境課
25		7	その他 ②自然・環境	創成科学研究科 今井 剛教授	・美祢市麦川地区坑内水臭気対策に関する研究 ・通年 美祢市麦川地区坑内水臭気対策に関して実地調査を行い、その対策を検討する。 ・4月20日（金） 麦川坑内水臭気対策に係る平成29年度調査報告会への出席及び調査報告書の説明 ・3月28日（木） 平成30年度美祢市麦川地区坑内水調査報告書の提出	生活 環境課
26	新規	7	その他 ②自然・環境	創成科学研究科 今井 剛教授	・美祢市廃棄物減量等審議会委員 ・10月17日（水） 美祢市廃棄物減量等審議会へ会長として出席 ・3月28日（木） 美祢市廃棄物減量等審議会へ会長として出席	生活 環境課
27	新規	7	その他 ③公共施設	創成科学研究科 小井真教授 鈴木素之教授	・通年 美祢市新本庁舎整備基本計画の策定（新本庁舎整備アドバイザー会議） ・2月1日（金） 委員として出席 ・3月26日（火） //	総務課
28		7	その他 ③公共施設	創成科学研究科 牛島 朗教授 宋 俊煥助教	・美祢市公共施設等あり方検討委員会委員 3月26日（木） 委員会開催	秘書課
29		7	その他 ④公共交通	創成科学研究科 榊原弘之教授	・美祢市地域公共交通協議会委員	地域 振興課
30	新規	7	その他 ⑤文化	理学部 脇田浩二教授	・化石採集場地質調査等委託 ・化石採集場化石調査に伴う調査地の地質調査（柱状図作成と報告書作成） ・委託金額 150,800円 ・期 間 平成30年11月1日～平成31年3月15日 柱状図と報告書受理	文化財 保護課
31	新規	7	その他 ⑤文化	理学部 脇田浩二教授 堀 学准教授	・秋芳洞照明植生対策事業事前検討会議 ・平成31年度、国庫補助を利用し緊急調査を行う予定であるため調査内容について検討する。	文化財 保護課
32		7	その他 ⑤文化	経済学部 木部和昭教授	・美祢市文化財保護審議会委員として、指定文化財の保護や活用方法、新規指定文化財について審議 ・3月26日（火） 美祢市文化財保護審議会出席 本年度より副会長	文化財 保護課
33	新規	7	その他 ⑤文化	田中和広副学長 埋蔵文化財資料館 横山成己助教	・美祢市立博物館等施設将来構想検討委員会委員として、美祢市における博物館等の整備計画の基本的事項を審議 ・2月21日（木） 美祢市立博物館等施設将来構想検討委員会委員 出席（田中副学長は会長となる）	文化財 保護課
34	新規	7	その他 ⑤文化	農学部 藤間 充准教授 柳 由貴子助教	・2月14日（木） 長登銅山跡発掘調査について土壌成因について指導	文化財 保護課
35		7	その他 ⑥その他	経済学部 三間地光宏教授 小林友則准教授	・通年 審査請求の審査、情報公開・個人情報保護制度の運営に関する重要事項の調査審議 ・平成30年度 開催なし	総務課

令和元年度以降連携協力事項実施計画

事業番号	新規継続区分	整理番号	区分	担当学部 担当教授	事業実施計画（事業実施日、実施内容等）	事業継続の有無	所管課
1	継続	1-1	教育・研究 (学術研究)	理学部 村上柳太郎教授	・理学部サマープログラムにおける海外からの留学生への現地研修指導 ・実施日未定	有	文化財 保護課
2	継続	1-1	教育・研究 (学術研究)	理学部 坂口有人教授	・6月8日（土） 実習指導（28人）	有	文化財 保護課
3	継続	1-1	教育・研究 (学術研究)	農学部 柳 由貴子助教	・10月8日（火） 実習指導	有	文化財 保護課
4	継続	1-1	教育・研究 (学術研究)	理学部	・通年 学芸員養成に関する協力	有	文化財 保護課
5	継続	1-1	教育・研究 (学術研究)	農学部 藤間 充准教授	・山口大学農学部および農研機構（西日本農業研究センター）との共同研究	有	文化財 保護課
6	継続	1-1	教育・研究 (学術研究)	理学部 農学部	・通年 卒業論文等研究の相談および調査協力		文化財 保護課
7	継続	1-1	教育・研究 (学術研究)	理学部ほか	・通年 山口大学秋吉台アカデミックセンター運営支援	有	文化財 保護課
8	継続	1-2	教育・研究 (学校教育)	教育学部 松岡勝彦教授	・美祿市教育相談支援チーム活動の推進 7月11日（木）連絡協議会へ出席 11月14日（木）ケース会議へ出席 1月30日（木）連絡協議会へ出席 ・連絡協議会及びケース検討会議を開催し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援や学びのつながりを大切にする教育を推進するとともに、教育、福祉、医療、心理等の関係機関と連携しながら、特別な支援を必要とする園児・児童・生徒一人ひとりの実態や教育的ニーズの把握、また適切な支援についての協議を行うことを目的とする。	有	学校 教育課
9	継続	1-2	教育・研究 (学校教育)	教育学部ほか	・教育学部等の教育実習生を市内小・中学校で受け入れる。教育実習生が教育現場を体験することで、教師としての使命や責任を自覚する機会となるとともに、受入校の教職員の指導力の向上や児童生徒の成長の機会とすることを目的とする。	有	学校 教育課
10	継続	2	地域振興	田中和広副学長	・第二次美祿市総合計画審議会会長 ・第二次美祿市総合計画（基本計画・総合戦略）の策定	有	企画 政策課
11	継続	3	観光・ 産業振興	農学部 赤壁善彦教授	・通年 ニジマスブランド化への支援【共同研究申込（予定）】 ニジマスのブランド化およびその商品化 ニジマスの基礎分析データの取得及び商品化の検討	有	観光 総務課
12	継続	3	観光・ 産業振興	経済学部 齋藤英智准教授	・通年 産業振興推進審議会に会長として出席（10月頃を予定）	有	商工 労働課
13	継続	3	観光・ 産業振興	経済学部 陳 禮俊教授	・美祿市産業振興推進審議会 観光振興専門分科会専門委員 ・美祿市観光振興計画施策及び計画に関する進捗状況等を報告し、今後の計画遂行に向けて審議を行う。 ・令和2年3月 観光振興専門分科会開催予定。	有	観光 振興課
14	継続	3	観光・ 産業振興	国際総合科学部 小川仁志教授	・Mine観光地域づくり応援隊事業 ・各種イベント支援、計画及びPRを行う。 ・通年 イベント支援・PR ・4月 台湾地質公園学会視察通訳業務 ・9月～ イベント企画・ロゴマーク作成	有	観光 振興課
15	継続	3	観光・ 産業振興	国際総合科学部 小川仁志教授	・プロジェクト型課題解決研究事業（PBL） ・美祿市の台湾交流促進プロジェクトに参加することで地域に貢献するとともに大学のグローバル展開を実現する。 ・7月頃 台湾での現地調査 ・8月頃 中間方向 ・令和2年3月頃 事業報告	有	観光 振興課
16	継続	3	六次産業 振興推進室	農学部 高橋 肇教授	・11月頃 Mine Collection申請項目の事前書類審査 ・12月頃 Mine Collection審査会開催（プレゼンと試食） ・Mine Collection審査会委員として、令和元年度Mine Collectionの審査（令和元年度、1回を予定）	有	六次産 業 振興 推進室
17	継続	4	保健・医療	医学部 長谷亮佑助教	・美祿市健康づくり推進協議会 健康増進計画等推進部会運営支援	有	健康 増進課
18	継続	4	保健・医療	医学部附属病院 黒川典枝 特命教授	・美祿市地域医療推進協議会委員	有	健康 増進課
19	継続	4	保健・医療	医学部	・矯正医療研究支援	有	地域 振興課
20	継続	4	保健・医療	医学部	・社会復帰促進センター診療所への医師の派遣	有	地域 振興課

事業番号	新規継続区分	整理番号	区分	担当学部 担当教授	事業実施計画（事業実施日、実施内容等）	事業継続の有無	所管課
21	継続	5	国際交流	学生支援部	・MINE ENGLISH VILLAGE への協力 令和元年8月3日（土）9：00～15：00 美祢市民会館 美祢市内の児童生徒を対象に、山口大学留学生の協力の下で実施予定。 ①英語を使ったアクティビティ ②留学生の出身国の遊びや日本の遊びでの交流 ③英語検定に向けたアクティビティ ④留学生のおみやげづくり（はっぴ） ・英語によるコミュニケーション能力とグローバル感覚を備えた児童生徒の育成に資することを目的とする。	有	学校教育課
22	継続	5	国際交流	経済学部 富本幾文教授	・JICA「カンボジア国」地方行政研修（9月2日（月）～9月13日（金）） ・9月10日（火）美祢市へ訪問（世界ジオパーク構想等について） ジオサイト、秋吉台・秋芳洞訪問	有	企画政策課
23	新規	5	国際交流	留学生センター 宮永愛子准教授	「やさしい日本語」講座の講師 ・9月6日（金）開催、受講者45名		企画政策課
24	継続	6	ジオパーク活動	創成科学研究科 田中和広副学長 脇田浩二教授 坂口有人教授	・通年 ジオガイド育成支援 ・通年 ジオパーク拠点施設に係る協議 ・通年 ジオパーク巡検支援 ・通年 ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた支援	有	世界ジオパーク推進課
25	継続	7	その他 ①防災	創成科学研究科 鈴木素之教授	・通年 美祢市の防災計画等の検証及び見直し（※必要に応じて開催）	有	総務課
26	継続	7	②自然・環境	創成科学研究科 奥田昌之教授 創成科学研究科 今井 剛教授	・美祢市環境審議会委員 ・通年 美祢市における環境の保全に関し、基本的事項を調査審議する。 （美祢市における公害防止対策についての調査研究をする。） ・2月頃 美祢市環境審議会への出席	有	生活環境課
27	継続	7	②自然・環境	創成科学研究科 今井 剛教授	・美祢市麦川地区坑内水臭気対策に関する研究 ・通年 美祢市麦川地区坑内水臭気対策に関して実地調査を行い、その対策を検討する。 ・4月頃 麦川坑内水臭気対策に係る前年度調査報告会への出席及び調査報告書の説明 （麦川地区公害対策協議会会長から要望がない場合は報告会は実施しない） ・3月頃 美祢市麦川地区坑内水調査報告書の提出	有	生活環境課
28	継続	7	②自然・環境	創成科学研究科 今井 剛教授	・美祢市廃棄物減量等審議会委員 ・通年 美祢市廃棄物減量等審議会に会長として出席（年2回開催予定）	有	生活環境課
29	継続	7	その他 ③公共施設	創成科学研究科 小金井真教授 鈴木素之教授	・通年 美祢市新本庁舎整備基本計画の策定（新本庁舎整備アドバイザー会議） ※R元年度は3回程度開催予定 ・通年 委員として出席	有	総務課
30	継続	7	その他 ③公共施設	創成科学研究科 牛島 朗教授 宋 俊煥助教	・美祢市公共施設等あり方検討委員会委員	有	企画政策課
31	継続	7	その他 ④公共交通	創成科学研究科 榊原弘之教授	・美祢市地域公共交通協議会委員	無	地域振興課
32	新規	7	その他 ⑤文化	理学部 堀 学准教授	○秋芳洞照明植生対策事業 ○秋芳洞照明植生対策事業緊急調査 ・特別天然記念物秋芳洞における照明植生の除去。抑制対策のための、照明植生構成種の調査及び洞内外の水生生物の調査。 ・期間 令和元年5月1日から令和2年3月31日 ○特別天然記念物秋芳洞照明植生対策委員会委員 ・秋吉洞内照明植生の原因及び対策方法に関し、委員として審議及び指導（委員会として調査報告書を作成） ・期間 令和元年5月1日から令和3年3月31日	有	文化財保護課
33	継続	7	その他 ⑤文化	経済学部 木部和昭教授	・通年 美祢市文化財保護審議会副会長として、指定文化財の保護や活用方法、新規指定文化財について審議	有	文化財保護課
34	継続	7	その他 ⑤文化	田中和広副学長 埋蔵文化財資料館 横山成己助教	・通年 美祢市立博物館等施設将来構想検討委員会委員として、美祢市における博物館等の整備計画の基本的事項を審議（田中副学長は会長）	有	文化財保護課
35	継続	7	その他 ⑥その他	経済学部 三間地光宏教授 小林友則准教授	・通年 審査請求の審査、情報公開・個人情報保護制度の運営に関する重要事項の調査審議（※必要に応じて開催）	有	総務課

2018.10.28【里山フェス in 秋吉台】～もち拾い選手権企画・活動状況～

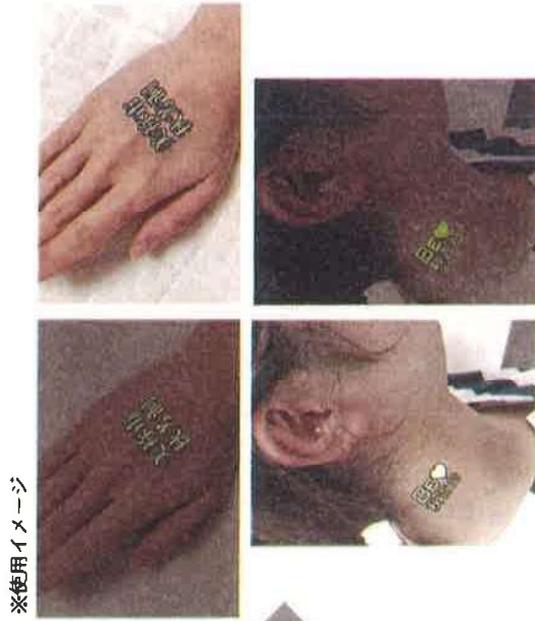


山口大学国際総合科学部 小川ゼミ  
 コラボ商品開発

- ◇タトゥーシール：1000枚×2タイプ  
 サイズ：ヨコ×タテ／60×50mm  
 仕様説明：タトゥーのデザイン内部に自然光を貯め込み、暗闇で自発的に光る蓄光シール。  
 仕上げ：PP袋個装処理

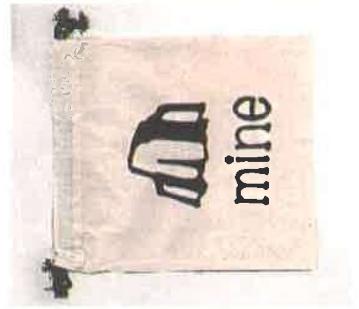


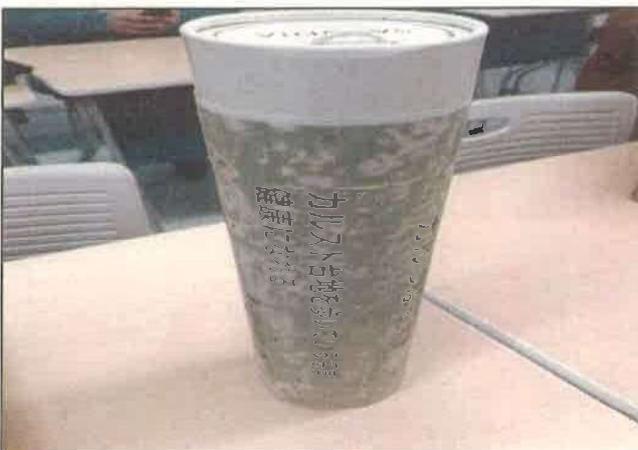
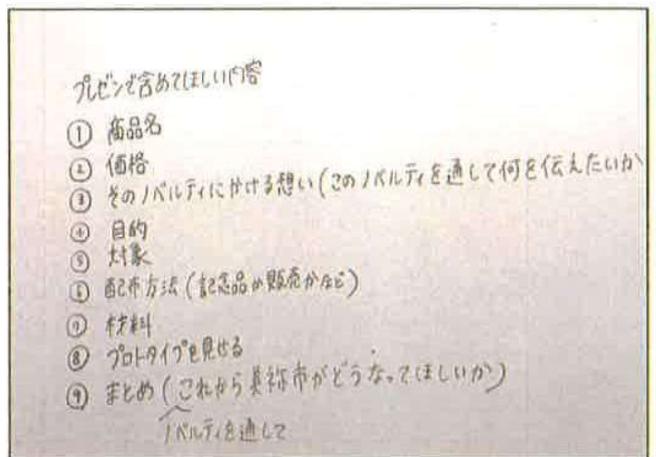
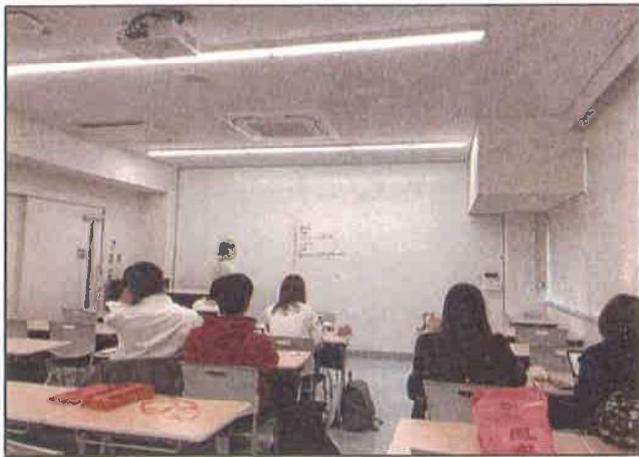
※イメージ 暗いところでの見え方



※使用イメージ

- ◇オリジナル巾着：1000個×2タイプ  
 サイズ：ヨコ×タテ／80×120mm  
 プリント仕様：特色1色シルクスクリーンプリント  
 付属：ACロープ4×4  
 仕上げ：PP袋個装処理





台湾人にもっと美祢市を  
知ってもらうための  
**100の提案**



**PBL M-1project**

～美祢市における訪日台湾人観光客誘致の  
ための企画立案～

作成者

山口大学国際総合科学部 4年

江舟陽菜 岡林知宏 増川紀美子 安河内淳朗 吉田昌広

## 目次

### SNS in台湾

1. #美祿ハッシュタグ#	1
2. 美祿あるある	2
3. 美祿市民の日常紹介サイト	3

### メディア in台湾

4. こぶっちゃんのおもしろ動画作成	4
5. 台湾の有名人による美祿市旅行体験記を放送	5
6. 車のCMに美祿市を使用	6
7. 台湾ファッションブランドで美祿市PR	7
8. 蔡總統が美祿市をPR	8
9. ゆるキャラをおもしろいおばあちゃんキャラに変更	9
10. ペルソナ美祿市旅行記	10
11. 美祿市台湾人観光大使	11
12. 旅PRGアプリ	12
13. 美祿市の耳に残るような歌・ダンス（広告にも使用）	13
14. 印象的なキャッチコピー	14
15. 美祿ーム	15
16. ○○女子（カメラ女子）	16
17. QRコード付きポストカード	17
18. LINEスタンプ	18
19. 美祿で撮った日本文化関連の写真を著作権フリーに	19
20. 著作権フリーのキャラクター作成	20
21. 美祿で撮った名言関連の写真を著作権フリーに	21
22. 弁天池物語	22
23. 新しい匂いのブランド「美祿市の香り」	23
24. 安部總理でPR	24
25. ゴボウ抜き体験	25
26. ヨガモデル	26

### 看板・ポスター in台湾

27. 立体的な看板	27
28. 鍾乳石でできた石像	28
29. シンプルなポスター	29
30. インスタグラム上の写真を使用した宣伝	30
31. のぞき穴（のぞくと美祿市）	31
32. PRの一環でアクセス情報の掲載	32
33. 四季折々の映え写真でPR	33
34. 四季折々のイベント、おすすめ体験でPR	34
35. トイレレットペーパー	35
36. バスの側面に広告添付	36
37. 美祿市の観光名所を書いたマスキングテープ	37
38. 美祿市の観光名所のラッピングバス・電車（車内）	38
39. しおりに美祿市の観光名所	39
40. 街中で美祿市の風景をモザイクアート	40
41. 自転車屋さんと美祿市サイクルツーリズムの宣伝	41
42. ホテルの壁紙に美祿市の風景をプリント	42
43. ゴミ箱を美祿市の自然でラッピング	43

### スポーツ in台湾

44. 運動関連の大会・イベントで美祿市のスポーツツーリズムをPR	44
45. VRと自転車を使用し美祿サイクリングをPR	45

### グルメ in台湾

46. 物産展にてミネコレの商品を販売	46
47. 夜市でミネコレを使った食べ物を提供	47
48. 美祿市おにぎり	48
49. 台湾グルメ×美祿市グルメの創作料理大会	49

### イベント in台湾

50. 街中で弁天池のライトアート	50
51. 人工鍾乳洞内で大樽酒造のお酒を楽しむブースの設置	51

52. 美祿の雑貨を台湾の雑貨屋で販売	52
53. サイクリング無料体験モニターを募集(若い男女限定)	53
54. 秋吉台や秋芳洞の映像を物産展などで配信	54
55. 美祿市×台湾のシンポジウム	55
56. 花見体験	56
57. Facebook登録者数を増やすための美祿市PRイベントを開催	57
58. 本屋の一角にミネコレコーナーを設置	58
59. 太魯閣×美祿市	59
SNS in美祿市	
60. 美祿市でインフルエンサーを育成し、Instagramで拡散	60
61. 中国語を用いYoutubeで美祿市の魅力を定期的に発信	61
メディア in美祿市	
62. スマホ決済	62
63. 合同ゆるキャラ	63
64. 美祿市を台湾人が気になる名前に変更	64
65. GPS位置情報の観光行動調査	65
66. ミネコレマラソン大会	66
看板・ポスター in美祿市	
67. 山口一週間で遊びつくそうプラン	67
68. 奇想天外の看板使用	68
69. 旅行中の写真をカレンダーにし、プレゼント	69
スポーツ in美祿市	
70. 新しいスポーツ・伝統スポーツの融合	70
71. 映えランニング	71
グルメ in美祿市	
72. ポイントが貯まるスタンプカード	72
73. 飲食店で水の代わりにゴボウ茶を提供	73
74. 料理教室	74
75. ブルーベリージュースの出る蛇口	75
76. 台湾人留学生とコラボで特産品開発、試食会	76
イベント in美祿市	
77. 牛勢祭り ゴボウリレー牛勢擲(面白祭り)	77
78. 美祿台湾優待ウィーク	78
79. 美祿市台湾合同映画祭	79
80. テラスハウスin美祿(国際お見合いパーティー、国際結婚)	80
81. 美祿市ウルトラクイズ	81
82. 寿楽シックパーク	82
83. レンタカー会社と山口県周遊プラン	83
84. 文化体験・マナー講座ツアー	84
85. 美祿の観光スポットのスタンプラリーを作り、抽選で台湾日本間の航空券をプレゼント	85
86. 自転車を【作る】イベントを開催	86
87. 山口大学洞穴研究会とともに洞窟を調査する実践体験	87
88. 山口出身の俳優、声優さんで美祿市PR	88
89. キャラクターとコラボイベント	89
90. 朝太極拳・ヨガ教室	90
91. 秋吉台期間限定音楽解放区	91
92. ドローンの解放区	92
93. 子供のお手紙	93
94. 無理矢理ギネス	94
95. 美祿市中心身浄化ツアー	95
96. 自然の中にコンセント	96
97. 秋芳洞で紅白歌合戦	97
98. 鍾乳石を自分で拾ってきて、粉にしてアート対決	98
99. 爆買い旅行	99
100. 謎解きタウンウォーク	100

## 『やさしい日本語』講座受講者募集！！

外国人住民に伝わるかわりやすい日本語を学びませんか？

地域で暮らす外国人住民に何かを伝えたいとき、私たちが普段使っている日本語に少し工夫をすれば伝わることも多いのです。

ぜひ、外国人住民に伝わる「やさしい日本語」を通して、外国人住民との暮らしやすい地域づくりについて考えてみませんか？

●開講日 令和元年9月6日(金) 13時30分～15時30分

●場 所 美祢市民会館大会議室（美祢市大嶺町東分 326-1）

●講 師 宮永 愛子 氏（山口大学留学生センター准教授）

●定 員 50人程度（先着順）

※定員になり次第締め切ります。

●申込み方法 住所、氏名、連絡先、受講動機を電話・FAX・Eメール・来所のいずれかで申込みください。

●申込締切 8月23日(金)

●申込み・問い合わせ先

企画政策課 [TEL 0837(52)1112]

[FAX 0837(53)1959]

[Eメール [seisaku@city.mine.lg.jp](mailto:seisaku@city.mine.lg.jp)]

-----きりとり-----

### 『やさしい日本語』講座受講申込書

美祢市総合政策部企画政策課 宛【FAX 0837-53-1959】

ふりがな	
氏 名	
住 所	〒
電話番号	
受講動機	

＊＊ご参加お待ちしております＊＊

## 山口大学秋吉台アカデミックセンターの取組状況について

## ○平成 30 年度の事業実績について

## 1. 山口大学秋吉台アカデミックセンター運営委員会の開催

平成 30 年 8 月 2 日（木）に運営委員会を開催し、以下の内容について意見を交わした。

- ・平成 29 年度事業報告と平成 30 年度の事業内容
- ・運営委員会新規委員（教育学部：中野良寿教授）の指名

※委員の構成は別紙 1 参照。

## 2. 山口大学、美祢市間の連携窓口業務

山口大学秋吉台アカデミックセンターを窓口として、様々な活動を支援した。

## I：山口大学の教育研究活動に対するサポート

- ・各種許認可申請手続き補助

秋芳洞・景清洞減免申請（理学部脇田教授 8、10、12 月）

長登銅山の減免申請（理学部脇田教授 10 月）

美祢市のバスの予約（理学部大和田 10 月）

秋吉台科学博物館講義室の利用申請（農学部柳先生 10 月、経済学部朝水教授 12 月）

秋吉台科学博物館へのパネル展示に向けた調整（工学部小金井教授 12 月）

- ・理学部の教育研究活動への協力

サマープログラムの開催支援（8 月）

卒論研究の支援（理学部脇田教授 10 月）

- ・高大連携

青嶺高校の授業サポート

- ・秋吉台を対象とした芸術活動の支援

アメリカ人アーティストのイラナ・ハルペリン氏の秋吉周辺の視察への同行

- ・秋吉台を対象とした研究資料の収集

明治維新 150 周年記念の山口大学でおこなわれる講演会のための資料収集

## II：美祢市の事業に対する支援

- ・ユネスコ世界ジオパークに向けた支援

国際シンポジウムの参加者に論文の特集号への執筆の呼びかけと、投稿の事務的支援

美祢市ジオパーク推進課の会議に参加

ジオサイトの視察（中尾洞、大正洞の陥没）

- ・美祢市のジオガイド講座の補助

- ・化石採集作業の支援

柱状図の作成委託先（脇田教授）並びに従事学生の斡旋と、当該学生のスケジューリング

- ・関係者、関係窓口への取り次ぎ

MINE ENGLISH VILLAGE（8 月）への留学生派遣

### 3. 山口大学秋吉台アカデミックセンター活動提案募集

山口大学内において、センターを活用した教育・研究・地域貢献活動を募集し、その活動費に対して支援を行った。

募集期間：平成 30 年 9 月 20 日（金）～10 月 4 日（木）

募集概要：山口大学の教員が美祢市をフィールドとして実施する教育・研究・地域貢献活動を対象活動実施に直接必要な経費に対して支援を行う（上限 30 万円）

募集結果：4 件の申請があり、全件を採択。詳細については別紙 2 参照。

その他：活動費の支援以外にも秋吉台科学博物館利用申請や、活動の周知等についても支援

### 4. 美祢秋吉ジオツアーの開催

美祢市教育委員会より、平成 30 年 10 月 28 日（日）に開催される長登銅山まつりへの留学生の派遣依頼があったため、美祢市の地域資源である長登銅山並びに秋吉台への理解を深めることを目的とした留学生対象のジオツアーを企画し、これに応じることとした。

午前は、長登銅山まつりに参加し、美東中学校生徒による長登銅山の英語でのガイドツアーへの参加、銅メダル鑄造体験、美祢市長と一緒に壇上から行った餅まき等、様々な体験を通じて、美東中学校の英語教育への貢献、地域住民との交流促進を図ることができた。

午後は、ガイドを務めた脇田教授の説明を受けながら、秋吉台科学博物館、Karstar、秋芳洞等各所を回り、秋吉台への理解を深めた。



### 5. スポーツ観光振興ワークショップの開催

平成 31 年 3 月 22 日（金）、秋芳ロイヤルホテル秋芳館を会場に、世界ジオパーク申請を目前に控えた美祢市において、SDG s 達成が世界的に求められていることを考慮し、保全を考えた地質遺産の新たな活用方法として、スポーツ観光振興の可能性を模索するためのきっかけ作りを目的としたワークショップを開催した。観光立国で成功しているニュージーランドのワイカト大学から金融と経済を専門としている Frank Scrimgeour 教授を招聘し、同国ワイカト地区の事例をもとに、新たなスポーツ観光振興の可能性の発掘についての議論・意見交換と、Frank 氏と美祢市（ジオパーク推進課、観光振興課、観光協会等）との交流を図った。



## ○令和元年度の事業計画について

### 1. 令和元年度事業の方針

令和元年度は、次の3点を主要な活動方針とし、事業を展開する。

- ①美祢市域をフィールドとした山口大学の教育・研究活動のアウトリーチ
- ②美祢市からの要請に基づいた事業（イベント等）の支援
- ③山口大学の教育・研究活動の支援

### 2. 令和元年度実施計画

上記の方針のもと、山口大学秋吉台アカデミックセンター開設から3年という節目を迎えることを鑑み、具体的には以下の計画を実施する。

#### I：教育研究成果アウトリーチ事業

秋吉台をフィールドとして山口大学並びに山口大学秋吉台アカデミックセンターがこれまで取り組んできた地質、土壌、生物、洞窟、芸術等の教育・研究活動の成果を総括・活用し、美祢市民を対象としたワークショップやシンポジウムを開催

- 例）・秋吉台をテーマとした科学と芸術に関するシンポジウム・ワークショップ（別紙3）
- ・土壌をテーマとしたシンポジウム

#### II：美祢市活動支援事業

ユネスコ世界ジオパークをはじめとする美祢市の各種事業に係る協力依頼に対して、山口大学秋吉台アカデミックセンターを中心に協力・連携を推進する

- 例）・ジオパーク事業への支援（アジアジオパークネットワーク内カルスト作業部会の主導等）
- ・長登銅山まつり等イベントへの留学生派遣に関する支援
- ・美祢市内の小学生を対象とした相談窓口の開設（別紙4）

#### III：山口大学秋吉台アカデミックセンター運営事業

非常勤職員1名を配置し、美祢市域における山口大学の教育・研究活動に伴う許認可や減免等の事務手続きの支援や、その他山口大学秋吉台アカデミックセンター運営に必要な事項を処理する

- 例）・秋芳洞入洞料減免手続きや現状変更手続き等の仲介
- ・美祢市からの相談等各種協力依頼の際の窓口

別紙1「山口大学秋吉台アカデミックセンター運営委員会 委員名簿」

平成31年4月1日現在

学部等名	職	氏名	備考
創成科学研究科 (理学)	副学長補佐 教授	脇田 浩二 (ワキタ コウジ)	委員長
創成科学研究科 (理学)	教授	大和田 正明 (オオワダ マサアキ)	副委員長
創成科学研究科 (理学)	准教授	堀 学 (ホリ マナブ)	
創成科学研究科 (工学)	教授	小金井 真 (コガネイ マコト)	
創成科学研究科 (農学)	准教授	藤間 充 (トウマ ミツル)	
経済学部	教授	朝水 宗彦 (アサミズ ムネヒコ)	
国際総合科学部	教授	崎山 智司 (サキヤマ サトシ)	
医学部	助教	長谷 亮佑 (ハセ リョウスケ)	
教育学部	教授	中野 良寿 (ナカノ ヨシヒサ)	

別紙2「平成30年度山口大学秋吉台アカデミックセンター活動提案一覧」

番号	申請者並びに活動名	活動内容	活動の成果
1	経済学部：朝水 宗彦 教授 「観光政策Informix」	<p>観光政策学科の年次報告会である「観光政策Informix」のうち、2日目（12月15日）の英語セッションとジオツーリズム・シンポジウムを秋吉台科学博物館講座にて実施。英語セッションは午前10時から12時まで実施し、20人ほどの参加者が聴講。英語セッションの発表者はTakemoto Timothy氏、Eid-Ul Hasan氏、Namita Regmi氏、Shamik Chakraborty氏の4名。</p> <p>ジオツーリズム・シンポジウムは午後1時から3時まで実施し、30人ほどの参加者が聴講した。ジオツーリズム・シンポジウムの発表者はチャラバルティ・アビック氏、目代邦康氏、脇田浩二氏、白井孝明氏の4名。会場には前日に経済学部で開催されたスポーツ・ツーリズム・シンポジウムの参加者も来場し、観光振興や関連する今後の課題について活発な意見交換が行われた。</p>	<p>英語セッションの演題とその概要については、「観光政策Informix」全体の報告書にまとめられた。</p> <p>ジオツーリズム・シンポジウムについては別冊で報告書を作成し、全体趣旨のパワーポイントのスライドと各発表者の要旨をまとめた。いずれの報告書も図書館等への配布。</p> <p>なお、観光政策学科にとって秋吉台でのシンポジウムは初めてであったが、今回の実施を契機に、今後洞窟観光やアウトドア・スポーツ等の講演会をいくつか計画している。</p>
2	教育学部：中野 良寿 教授 「リサーチとアウトリーチによる「イナハルベリン：ロックサイクル（ヤマガチ）」プロジェクト」	<p>スコットランド在住の地質学とアートをテーマに活動を行うアメリカ人アーティスト、イナハルベリン氏が美祿市の秋吉台カルスト台地をフィールドにして提唱する「The Rock Cycle Yamaguchi（ロックサイクル、ヤマガチ）」プロジェクトをコンセプトの骨組みとして、①作品制作のためのリサーチ、②地域の高校生を対象にしたアウトリーチ活動及び鈴木啓二郎氏による同テーマのワークショップを実施。</p> <p>1)の作品制作のためのリサーチは、過去に別府などで作成した作品の発展系やカルスト台地の洞窟や地表をリサーチして岩石の成長やその循環について考察を行い、造形的な要素をもつ美術作品制作することを目的とした。2月24日には、過去作品のプレゼンテーションなどを秋吉台科学博物館講座室で開催した。</p> <p>2)の地域の高校生を対象にしたアウトリーチ活動については、2月20日に過去にイナハルベリンが行ったアートプロジェクトなどについて美祿市の青嶺高校の一年生を対象とした授業を同高校にて実施。地域の方々を対象とした鈴木啓二郎氏によるワークショップは、先述の2月24日のイナハル氏によるプレゼンテーション終了後に、テーマを秋吉台カルスト台地及び山口県の地域資源への着目として、秋吉台の展望台下をスタート地点として実施。30名程度の参加があり、芸術を通して地域や当該環境への理解を促すような内容で実施。</p>	<p>山口という土地の地質学的重要性に着目し、科学的視点、文化芸術など文系理系の分野をまたぐ内容をもつ企画として、美祿市やアカデミックセンターにおける活動の幅を広げる企画の先駆け的な活動を行うことができた。また、アウトリーチ活動として地域の青嶺高校での講義や秋吉台科学博物館近くの展望台下でのワークショップを設けることにより、地質学的にも景観的にもユニークで貴重なカルスト地形の保全・活用を科学の視点及び美術の造形的な要素を体験することにより、ジオパーク認定の定着ということのみならず、住民が将来に渡り、この地域を愛する気持ちを鼓舞することに寄与できるものとなったのではないかと考える。クワイエティブ・スコットランドのサポートを受けたり、「日英文化季間2019-2020」に公式認定されることで、海外のwebなどで紹介されるなど、国際的な認知度の向上につながっていく可能性があることも特筆すべき成果。</p>
3	工学部：小金井 真 教授 「秋芳洞から生まれた「地中熱換気システム」を理解するための見学会・勉強会の実施」	<p>「地中熱換気システム」は、地中に埋設した熱交換パイプに外気を通し、夏は冷却、冬は加熱して、建物内に供給する方式で、秋芳洞の中の温度が年間ほぼ一定（約17℃）であることをヒートに開発。このシステムについて、次の活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地中熱利用実験施設（熱ジオパワーシステム）」の見学会・勉強会実施（平成31年1月18日）</li> <li>① 地中熱換気システム説明会（勉強会）（熱ジオパワーシステム）</li> <li>② 地中熱換気システム見学会</li> </ul> <p>参加者：山口大学工学部感性デザイン工学科（建築系学科）3年生55名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地中熱換気システム」説明用パネルの制作（平成30年11月～31年1月）</li> <li>秋吉台科学博物館内に展示（平成31年3月）</li> <li>平成31年4月より来館者に説明。</li> <li>山口大学と地域企業との共同研究内容であること、美祿市発祥の新技术であることをPR。</li> </ul>	<p>「地中熱利用実験施設（熱ジオパワーシステム）」の見学会・勉強会については、工学部感性デザイン工学科3年生55名が参加し、自然エネルギー利用、地中熱活用の重要性、地中熱探熱のしくみについて学習した。</p> <p>「地中熱換気システム」説明用パネルの制作については、秋吉台科学博物館内にパネルを展示し、山口大学と地域企業との共同研究によるものであることや、美祿市発祥の新技术であることをPRするものと考えている。</p>
4	工学部：小松 隆一 教授 「長登銅山跡の古代銅製錬の年代に関する基礎的研究」	<p>美祿市文化財保護課の許可を得て、長登銅山交流館の池田館長より、古代銅精錬カラミと密接に関連する木炭（木片）試料5種の提供を受けた。それらの試料中14C年代測定に適する木炭片4個を選別した。その試料をわが国で14C年代測定において最も精度よく測定可能な会社に依頼して測定結果を得た。同時にカラミの分析及びカラミ中に存在する銅粒子の分析を行った。</p> <p>年代測定結果、古代銅製錬の時代は従来考古学的に考えられた時代よりおよそ200年も遡ることが判明したので、これまでの測定結果を合わせて学術雑誌で公表すべき原稿を現在準備中である。また、これらの結果を考慮して古代銅製錬カラミ中（美祿市文化財保護課の許可済）の銅粒子の化学分析結果と技術的変遷がほぼ明らかになったので、年代測定結果とは別の学会誌での公表予定で、現在その準備中である。</p> <p>長登産製錬銅を用いたと推定されている周防鎔銭司出土の棄損銭（山口市文化財保護課の許可済）の化学分析を行い、長登産銅との比較検討を行った。</p>	<p>長登銅山における古代銅製錬は考古学的には奈良時代初期に始まったと考えられていたが、カラミに含まれていた木炭片の年代測定結果、飛鳥時代末期である結果が得られた。また、発掘物中の木炭片の年代測定結果、古墳時代中期や飛鳥時代中期の値が得られ、従来考えられていた時代よりおよそ200年遡って古代銅製錬が始まったと推定される。同時に銅山開発の時代も200年奈良時代より200年前には行われていたと考えられる。これらの結果は全く新しい知見である。</p> <p>また、古代銅製錬の時代が明らかになった事実から、カラミ中の銅粒子中の砒素や錫含有量の変化が、製錬時代の変化に対応して変遷していることも明らかになってきた。同時に製錬に用いた銅鉱石などの原料や銅製錬の物理・化学的変遷の考察も可能になり、製錬技術の変化も推定可能となった。</p> <p>本研究は、美祿市長登銅山文化交流館の池田館長との共同研究であり、山口学プロジェクトの研究テーマの一つでもあり、新しく有益な絶対値年代が得られたので古代テクノリスとしての美祿地域の歴史的描像を明らかにすることに貢献できると思われる。</p>

## 別紙3

自然科学×現代美術 リサーチとアウトリーチによる

# イラナ・ハルペリン：ロックサイクル（ヤマグチ）

山口とスコットランドをつなぐ領域横断プロジェクト



2019年2月に続きイラナ・ハルペリン氏（ニューヨーク生まれ、グラスゴー在住）を再度招聘し、アート（芸術）とサイエンス（科学）に関するシンポジウムを開催致します。あわせて美祢市内3カ所でイラナ氏の作品展示を行います。

本活動は科学と芸術の領域にまたがるプロジェクト「ロックサイクル（ヤマグチ）」の一部です。これは岩石が深い地質の時間のなかでどう変化・変質していくのかを示す「岩石の循環と相関図（ロックサイクル）」に着想を得ており、第1章「生命 - 活動」、第2章「堆積岩 - 蓄積/石化」、第3章「変成岩 - 変化」の3章構成です。今回の活動は第2章に当たり、2018年の秋吉台国際芸術村でのフェローシップや、今年2月のリサーチ・アウトリーチ活動の成果発表となります。美祢市立秋吉台科学博物館におけるアーティストや専門家を交えたシンポジウムの開催とともに、美祢市立秋吉台科学博物館、秋吉台国際芸術村、Mine秋吉台ジオパークセンター「カルスター」の3カ所で山口に特有な素材を用いて制作した美術作品を発表します。

これにより日本地質百選にも選定されたカルスト台地「秋吉台」や日本最大規模の鍾乳洞「秋芳洞」をはじめとする山口の地質学的重要性を再発見するとともに、それらがいかに地域の日常生活や文化と深く関係し合っているのかということ現代美術の詩的な目線から浮かび上がらせます。自然科学と現代美術、日本とスコットランド、言語や文化の違い・境界を超え、様々な領域や背景を持つ人々と密に関わり合いながら議論を深め、それを未来に向けて国内外に広く発信・共有していくことを目的としています。

\*「ロックサイクル（ヤマグチ）」は「英国における日本文化年間」の認定事業、ならびに日英交流年「UK in JAPAN 2019-20」の参加イベントです。



### シンポジウム・ワークショップ

2019年10月13日（日）13:30～16:10、参加無料

会場：美祿市立秋吉台科学博物館 講座室（ワークショップ：秋吉台カルスト台地にて）

- ・イラナ・ハルペリンによるアーティストトーク
- ・田中 和広（山口大学 理事・副学長）による講演「地質学と芸術：木部谷温泉との関わり」
- ・鈴木 啓二郎（アーティスト）による「カルスト：フィールド・ワークショップ」。秋吉台カルスト台地の自然資源や美祿市の文化資源などから着想を得て、環境や文化理解に関わる簡単な課題を協力して実施するクリエイティブなワークショップ。

### 展覧会（山口）

会場1：美祿市立秋吉台科学博物館（〒754-0511 美祿市秋芳町秋吉1237-938）

2019年10月12日（土）- 11月4日（月・祝）9am-5pm 月曜休み（月曜が祝日の場合は翌火曜休み）

会場2：秋吉台国際芸術村 ギャラリースペース（〒754-0511 美祿市秋芳町秋吉50番地）

2019年10月12日（土）- 10月20日（日）9am-5pm 無休

会場3：Mine秋吉台ジオパークセンター「カルスター」（〒754-0511 美祿市秋芳町秋吉11237-862）

2019年10月12日（土）- 10月20日（日）9am-5pm 無休

### 展覧会（スコットランド・予定）

2020/2021年、ピア・アーツ・センター（オークニー）にて

### 主催

山口大学秋吉台アカデミックセンター | 山口大学教育学部中野良寿研究室

### 協力（順不同・敬称略）

美祿市立秋吉台科学博物館 | 秋吉台国際芸術村 | Mine秋吉台ジオパークセンター「カルスター」 | N3 ART Lab | 山口現代芸術研究所 | 木部谷温泉 松乃湯 | 萩焼窯元 明善窯 | 有限会社 安藤石材 | 長登銅山文化交流館 | 長沢陶土 有限会社 | 千々松和紙工房 | 山口県立美祿青嶺高等学校 | be画材 | 福田美智子（フリーランスプロジェクトマネージャー） | 村上崇史（日本洞窟学会 副会長） | ピア・アーツ・センター | ダンディー・コンテンポラリー・アーツ版画工房 | グラフィカル・ハウス | パトリシア・フレーミング

### 後援（順不同・敬称略）

美祿市・美祿市教育委員会 | プリティッシュ・カウンシル

### 助成（順不同・敬称略）

クリエイティブ・スコットランド | グレイトブリテン・ササカワ財団 | ピア・アーツ・センター

リンク：[www.the-rock-cycle-yamaguchi.tumblr.com](http://www.the-rock-cycle-yamaguchi.tumblr.com)

### イラナ・ハルペリン | [www.geologicnotes.wordpress.com](http://www.geologicnotes.wordpress.com)

イラナ・ハルペリンはニューヨーク出身、グラスゴー在住のアーティスト。1995年に米国ブラウン大学で学位を取得、2000年にはグラスゴー美術学校で修士号を取得。地質学と日常生活の関係を探求した作品を制作してきた彼女はこれまでハワイの活火山、グリーンランドの氷原、フランスの洞窟、日本の地熱プールへと辿ってきた。スコットランド国立博物館（2013、エディンバラ）、ベルリン医学史博物館（2012、ベルリン）、Artists Spaceでの個展

（2009、ニューヨーク）など、作品は世界中で展示されている。プリティッシュカウンシルのダーウィン賞やマンチェスター美術館のアルケミー賞など受賞歴も多く、『進化論』で知られる自然科学者チャールズ・ダーウィンの生誕地であるシュルーズベリーの新美術館のアーティスト・キュレーターを務める。スコットランド博物館の

「Inaugural Artist Fellowship」を授与され、最近ではサンフランシスコの科学博物館「エクスプロラトリウム」にて恒久的なコミッション作品「The Library of Earth Anatomy（地球の解剖書庫）」がオープンした。またベルリンのSchering Stiftung が彼女の作品のモノグラフ「New Landmass（新しい陸地）」を発行。アイスランドのエルトフェットル火山と誕生日を共有している。

お問い合わせ先：山口大学教育学部中野良寿研究室

tel:090-9003-6944 e-mail: [nakano-y@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:nakano-y@yamaguchi-u.ac.jp)

## 夏休みちびっ子 化石と岩石 大発見 !

山口大学秋吉台アカデミックセンターでは、この夏休みに美祿市の子どもたちのために、化石と岩石についての専門家によるお話と、なんでも質問・鑑定コーナーを企画しています。是非、多くの子どもたちやご家族の方たちにお集まりいただきたいと思います。夏休みの宿題の相談も受けつけます！

### ① おはなし『化石のはなし』 講師:岩谷北斗先生 (山口大学)

みなさんは化石について知っていますか？恐竜やアンモナイト、美祿でみつかったディキノドン化石について新聞やインターネット、本などで見たことがあるひとは多いと思います。では化石って一体なんでしょう？どうやって出来るのでしょうか？化石は何かの役に立つのでしょうか？化石についてのあれこれをお話しします。

### ② おはなし『石灰岩や石炭のひみつ』 講師：脇田浩二先生 (山口大学)

みなさんにおなじみの秋吉の石灰岩や大嶺の石炭のふしぎについてのおはなしです。

### ③ 質問・鑑定・相談コーナー

化石について 岩谷北斗先生, 中川孝典さん (山口大学大学院生)

岩石について 松本理子さん (山口大学大学院生)

中野慶太さん (山口大学大学院生)

**開催日時：令和元年 8 月 17 日 (土) 12:30 受付開始 13:00 開会**

**会場：美祿市民会館 第 1 会議室・第 2 会議室 (〒759-2292 美祿市大嶺町東分 326-1)**

**参加費：無料**

**事前申込：不要**

**日程：12:30～**

**受付**

**13:00～13:10 開会あいさつ**

**13:10～13:40 おはなし『化石のはなし』**

**講師：岩谷北斗先生**

**13:40～14:00 おはなし『石灰岩や石炭のひみつ』**

**講師：脇田浩二先生**

**14:00～15:00 質問・鑑定・相談コーナー**



**主催・お問い合わせ：山口大学秋吉台アカデミックセンター**

**電話番号：0837-62-0026**

**083-933-5962 (山口大学地域連携課)**

**メールアドレス：academic@yamaguchi-u.ac.jp**

## 国立大学法人山口大学・美祢市連絡協議会設置要項

### (目的)

第1条 国立大学法人山口大学と美祢市との包括的連携・協力に関する協定書（平成26年3月5日締結）第4条に定める協議のため、国立大学法人山口大学・美祢市連絡協議会（以下「連絡協議会」という。）を置く。

### (協議事項)

第2条 連絡協議会は、次の事項について協議する。

- (1) 連携・協力事項の推進に関すること
- (2) その他連携・協力に関すること

### (組織)

第3条 連絡協議会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 山口大学
  - ア 副学長（地域連携担当）
  - イ 地域未来創生センター長
  - ウ その他国立大学法人山口大学が必要と認める者
- (2) 美祢市
  - ア 総合政策部長
  - イ 教育委員会事務局長
  - ウ その他美祢市が必要と認める者

### (会議及び議長)

第4条 連絡協議会は、必要に応じて開催し、議長は委員の互選により選出する。

### (部会)

第5条 協定書第2条に掲げる事項に関し、連携・協力の具体的事項を協議するため、必要に応じて部会を置くことができる。

2 部会に必要な事項は、別に定める。

### (調整会議)

第6条 連絡協議会における協議事項の調整並びに連携・協力事業に関する企画及び情報共有を図るため、連絡協議会の下に実務担当者で組織する調整会議を置く。

### (事務)

第7条 連絡協議会の事務は、山口大学においては総務企画部地域連携課とし、美祢市においては総合政策部企画政策課とする。

(雑則)

第8条 この要項に定めのない事項又は、連絡協議会に関し必要な事項が生じた場合は、別に定める。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から施行する。

この要項は、平成27年4月1日から施行する。

この要項は、平成28年4月1日から施行する。

この要項は、平成30年4月1日から施行する。